

減らそう！セクシャル・ハラスメント

～職場の風土を変えよう～



一般向け / DVD 約25分

文部科学省選定

項目	改正前	改正後
性差別の禁止	女性に対する差別の禁止	男女双方に対する差別を禁止する
セハラ防止	女性労働者のセハラ防止	男女労働者を対象としたセハラ防止
過料	規定なし	報告制度の導入に違反した場合は20万円以下の過料

相談内容の内訳

労働者からの相談件数 (2015年) 11,057件

- その他 13.6%
- セハラ 55.9%
- 性差別 13.6%
- 性差別とセハラ 16.9%

2006年 男女雇用機会均等法改正 (改正ポイント)

出産・育児への理解がない

～職場のマタニティ・ハラスメントを防ぐ～



一般向け / DVD 約26分

文部科学省選定

マタニティハラスメントとは個人型

- 妊娠・産後・育児休業期間中の差別
- 子供のことを第一に考えない
- 育児休業期間中の差別
- 育児休業期間中の差別

妊娠の内幕

女性が高層や深夜などを不利益を蒙りやすい業務を命令する

その責に転嫁や前置きしてない

罰則として罰金罰則がらみと成り得る

家庭、個人の責任が受けかた 「過殺」

女性を働かせると子育てしていると

子育てをしながら働きたいと考えている

8割以上が子育てをしながら働きたいと考えている

企業 育児 育児休業 育児休業の取得率

ゆとりある職場環境づくり

監修者の言葉



セクシャル・ハラスメント(セクハラ)やマタニティ・ハラスメント(マタハラ)などの不利益な扱いは、男女雇用機会均等法や育児・介護休業法で厳しく禁じられています。しかし、現実には、法知識の乏しさや法律を守ろうという意識の低さから、セクハラやマタハラは、まだまだ職場の中で横行しています。セクハラやマタハラが横行する企業の風土では、個人を傷つけるだけでなく、就業意欲も職場環境も壊してしまいます。企業ブランドさえ傷つきかねません。

この2作品は、身近に起きている今日的なセクハラ、マタハラの問題を、分かり易いストーリーで具体的に捉え映像化したもので、働く場の指針を厳しく見直す時代にきていることを職場の従業員に警告しています。企業研修など、社員・職員教育の場で積極的に活用してもらい、誰もが働きやすい環境を作りたいものです。

一般社団法人 職場のハラスメント研究所 代表理事 金子 雅臣

減らそう！セクシャル・ハラスメント ～職場の風土を変えよう～

一般向け / DVD 約 25 分

文部科学省選定

企画のねらい

2015年、労働局への労働者による相談件数は、11,057件。そのうち、55.9%が「セクシャル・ハラスメント(セクハラ)」の相談です。昭和60年の『男女雇用機会均等法』制定を機に、働く女性にとって『募集』や『昇進』など、男性と同様な扱いを受ける事が出来るようになってきました。それでもまだ、「男女の価値観の違い」や「古い慣習」により、女性が不利な立場にあるため、その都度改正を繰り返しています。

この作品では、ある男性社員が、自分がセクハラ加害者であると指摘されたことをきっかけに、徐々にセクハラについての認識を改めていく姿をドラマ仕立てで描きます。

セクハラのある方が多様化している現在、全ては「身近に存在するセクハラを理解すること」から始まります。企業が行うべき対処方法を具体的に示し、「セクハラに対して、企業としてどのような意識を持ち、どう的確に処置していくべきか」を示しています。

主な内容

- 被害者女性からハラスメント相談員への密告
- 相談員が加害者男性へ忠告
- 加害者男性がセクハラを学び、被害者女性と和解
- セクハラのない職場にするための具体的な動き



ライブラリー価格

本体 ¥65,000+税

出産・育児への理解がない ～職場のマタニティ・ハラスメントを防ぐ～

一般向け / DVD 約 26 分

文部科学省選定

企画のねらい

「マタニティ・ハラスメント(マタハラ)」とは、働く女性が妊娠・出産を理由に解雇されたり、雇用を拒否されたり、妊娠・出産にあたって職場で受けるハラスメントのことです。『セクハラ』『パワハラ』とともに働く女性を悩ませる3大ハラスメントの1つです。ところがマタハラは社会的な認知がまだ十分に進んでおらず、妊娠・出産・育児という女性特有のハラスメントのため、泣き寝入りが多いのが現実です。

本作品は、ある会社のハラスメント相談員が、マタハラに悩む女性社員から相談を受けたことをきっかけに、マタハラに関する知識を深め、周囲に理解と解決策を示していく内容になっています。

全ての女性が、安心して妊娠、出産、子育てしながら働き続けられる社会を実現する為に、まずは一人ひとりがマタハラを正しく認識し、改善しようとする意識を持つことが大切であると強く訴えかけています。

主な内容

- マタハラに悩む女性がハラスメント相談員へ相談
- ハラスメント相談員がマタハラを学ぶ
- 社員の訴えがトップを動かし、会社の意識変革へ
- マタハラを防ぐ職場づくりの重要性を説く



ライブラリー価格

本体 ¥65,000+税

企画・制作統括 高木 裕己
 プロデューサー 今井 法子
 脚本・監督 寺内 康太郎
 撮影 福田 陽平
 録音 田原 イサヲ
 編集 植田 中
 コーディネーター 遠藤 香代子
 齋藤 晃顕

撮影協力 日本石油販売株式会社
 特定非営利活動法人
 関東シニアライフアドバイザー協会
 ウェスタ川越
 制作協力 株式会社CLEO

制作・著作 / 株式会社 映学社
 DVD [カラー]
 2015年・映学社作品